

2013年5月1日

今朝のTVのモーニングバードで玉川氏が担当しているタマペディアと言うコーナーで自民党が推進する憲法改正の実態についてやっていた。このコーナーは最近のTVでは珍しく世間の問題を掘り起こして実態を伝える番組であり、参考になる。今日は憲法改正についての意見を述べていた。概ね私も同意見であり、憲法改正は充分議論して改正するのはいいとしてももっと重大な点が改正に必要な賛成票の数である。現憲法では議員の2/3の賛成がなければ、憲法改正は出来ないとされているが、自民党はこれではなかなか憲法改正が出来ないとして、過半数の賛成があれば改正できるようにこの憲法の改変事項を修正することを先に行うとしている。この動きは全くの暴挙としか考えられない。何のためにわざわざ全議席の2/3としたかといえば、正に簡単に憲法を改正できないようにしたはずのものだ。

これを変えてしまったら政権与党のやりたい放題となってしまう。自民党自身が国民の総意の元に憲法改正を行おうとしていると言い放っているのに、過半数で改憲などしたら、兎も角選挙で議員の過半数を取ったものが勝ちと言う構図になってしまい、国民の総意などとんでもないことになってしまう。もともと憲法は改選しにくいようにしてあるはずなのに何の意味もなくなってしまうのではないか！もっと悪いことに憲法改正の是非を決める国民投票法案もいつの間にか有権者数の過半数から、有効投票数の過半数で可能となる法案が既に可決されているとのこと。投票率が低いと実際の有権者、国民総数の数%でも可決してしまう。国民が投票しないのが悪いので片付けられてしまうことになる。

これを防ぐためにも2/3法案は固辞する必要がある。

しかしながら現在の自民政権は余りにも危険な政権ではないかと思える。憲法改正の項目にはもちろん9条云々の件もあるが、非常に問題なのは個人の権限の制限と言われている。つまりこれまでは個人の権利が優先されていたが、改正案では公益、公の障害になると認められた場合には個人の権限が制限される。例えばデモが公益を害する(当然政権担当者が決めることになる)となればデモを禁止でき違反すれば刑事告訴される。つまり気に入らないものは逮捕処罰できるということだ。今の自民党の憲法改正は非常に問題だ。と言っても今の民主党は当てにならないから、今度行われる参院選でも自民とを阻止できないとなると憲法改正が簡単化され、自民の思惑が憲法に簡単に反映されてしまう。これは阻止したいところだ。

ちなみにタマペディアで示されていたが、他国の憲法改正に必要な議員数は現在でも2/3以上となっているところがほとんどということだそう。この憲法改正に伴う手続きの簡素化は何とか阻止すべきことと思う。どうしたらいいのだろうか今のところ判らない。

話は変わるが先日来書いている宇宙並びに地球が騒がしくなっている件は更に加速しているようだ。地球の寒冷化の状況、地殻活動の活発化、また宇宙では土星の北極で起きている嵐が異常に大きいこと、太陽、及び太陽周辺の異常がさらに起きていること、カシオペアザのペテルギウスが既に超新星爆発を起こしたのではないかということ等々。最近の自然界の異常は尋常ではないかもしれない。と言ってもこれについては何の対策も出来ないためただ状況を見守る今年か出来ないが、地球の問題は我々の被害を最小限にすることはできるかもしれない。福島原発事故の後始末はまだまだ収束はしないだろうし、日本の政府はろくでもないことをしている余裕はないはずなのに。もっと地道な動きをしないと何のための政府なのかかわかない。自分で国会議員にでもなって何かをしなければならぬのか！・・・・

福島県の放射能状況調査の結果。少し古いがドイツの福島放射線物質に関する報道などもこのインターネットディスクにアップロードしておいた。この手のことは日本のマスゴミでは全く報道しない。多分日本国民より海外の人のほうが現状を良く知っている。オリンピック日本招致など出来るはずがない。猪瀬知事の発言よりもっと重大だ。わざわざ自国のトップ選手を放射線にさらしてまでオリンピックに出場させないだろうに。